

# 会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">会 議</div> <span style="margin-left: 10px;"><del>・ 打合せ</del></span> <span style="margin-left: 10px;"><del>・ 協 議</del></span>	文書番号	—
		決裁期日	令和元年12月6日
名 称	令和元年度 第4回安平町未来創生委員会		
日 時	令和元年12月2日 午前・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">午後</span> 3時00分～4時00分		
場 所	安平町役場総合庁舎（第1会議室）		
出席者	安 平 町 （政策推進課）木林課長、渡邊課長補佐、木村主幹、笹山主査 （総務課 復興・生活再建支援室）柳原課長補佐 委 員 未来創生委員会委員・外部有識者13名 コンサルタント会社 2名		
会議概要	<p><b>1 開会（進行：政策推進課長）</b>                  ◇過半数の参加により委員会が成立していることを宣言</p> <p><b>2 委員長挨拶</b>                  ◇本日は中期基本計画（案）の最終確認及び答申書の確認となる。本日で中期基本計画の審議が終了となるので、忌憚の無いご意見を願う。</p> <p><b>3 報告</b>                  （1）パブリック・コメントの結果について【資料1】  <span style="float: right;">（説明：政策推進課）</span>                  ◇11月5日から25日にかけて、中期基本計画（案）のパブリック・コメントを実施し、2名から5件の意見が提出されているところ。いただいた意見については、既に計画へ掲げている事項や、今後の事業検討にあたって検討させていただくこととして整理し、計画の修正等は予定していない。                  ◇パブリック・コメントの結果は後日、町ホームページ等で公表予定。</p> <p>（2）町政懇談会での概要説明について  <span style="float: right;">（説明：政策推進課）</span>                  ◇11月11日から14日の4日間にかけて、町内4地区で開催し、計43名の参加があった。                  ◇懇談会では、中期基本計画（案）の各政策分野のうち、主な事業を説明し、質疑応答を実施。主な質問・意見については別添のとおり。  <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">→質問・意見なし</div></p> <p><b>4 議事</b>                  （1）第2次安平町総合計画 中期基本計画（案）について【資料2、3、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">資料</span>】  <span style="float: right;">（説明：政策推進課）</span>                  ◇中期基本計画（案）について、これまで未来創生委員会や復興アドバイザー、国や北海道から意見をいただいております、それを踏まえ最終の中期基本計画（案）を作成している。（資料2）                  ◇また、いただいた意見については、資料3のとおり整理をさせていただいている。未来創生委員の皆様からいただいた意見のうち、中長期的な対応に向けて検討が必要なものについては、後期計画の策定に向けて引き継ぐためにも答申書の附帯意見として書かせていただいている。（<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">資料</span>のとおり）</p>		

◇以上を変更箇所として整理し、中期基本計画（案）、復興まちづくり計画（案）の最終確認とし審議いただきたい。

<委員> **追分高等学校について**

「追分高等学校については、他の小規模校との差別化について検討すべき時期にある」という意見について、それ以前に間口減が数年前から危惧されているところ。間口減に対する対応策について教えていただきたい。

<政策推進課>

追分高等学校は各学年1クラスがあり、それを維持していくために苦小牧市・千歳市の中学校を訪問し、進学状況の確認と追分高等学校のPRを行っているところ。また、追分高等学校は道立高校であるが、当町のまちづくりにとって幼小中高の一体的な連携が重要であることから、総合計画の中にも位置付けさせていただいている。

<委員長>

以上で、計画（案）について最終審議を終了してよろしいか。

→異議なし

**（２）第２次安平町総合計画 中期基本計画（案）に対する答申について【資料４】**

（説明：政策推進課）

◇総合計画中期基本計画の策定について、平成30年6月28日付けで、未来創生委員会は、安平町長から諮問を受けているところ。

◇この諮問に対し、未来創生委員会から答申書を町に提出することとなる。

◇先ほど説明した未来創生委員会委員の意見を踏まえて、答申書の附帯意見とし、答申書（案）を作成しているところ。その内容について審議いただきたい。

◇答申書は後日、委員長、副委員長から町長へ提出することとなる。

<委員> **事業の進捗管理について**

計画書内には数値目標が掲載されているが、仮に達成されたとしても人口が増えていないというギャップが生じてしまえば意味を成さないので、各種事業を講じていただきたい。

<政策推進課>

基本構想（10年間）の中で、目標人口と町への愛着度を数値目標として設定している。その割合を増やすこととしているが、PDCAを回す中で事業のブラッシュアップをしっかりとしていかなければならないと認識している。

<委員> **実効性のある地域防災計画について**

自然災害に対する今までの安平町の対応はお粗末だったと感じる。しかし、この震災を機に取組み姿勢が変わったと思う。計画倒れとならないよう、しっかりと実践させながら進めていただきたい。

<政策推進課>

計画を立てて終わりではなく、計画に掲げている事業（ソフト・ハード）を実施していくことが重要と認識している。

<委員> **ごみの分別について**

ごみの分別というよりは、大きな視点で資源化・収益化などを盛り込んでいただきたい。

<政策推進課>

ほかの委員からも「ごみ分別の周知徹底」について多くご意見をいただいているところであり、答申書には生活に密着するという観点での対応方策ということで書かせていただいた。仮に意味合いが違うのであれば、ご審議いただき修正としたい。

<委員> **ごみの減量化について**

ごみ自体の減量化もあるので、減らすという観点も盛り込んでいただければと思う。

<政策推進課>

『ごみの減量化・再資源化・再利用化』という部分を追加させていただくこととし、答申書の修正については、事務局一任としてよろしいか審議いただきたい。

→審議結果：了承

<委員> **組織風土・体制について**

「横断的な連携」や「誰もが活躍」という言葉があることは、そういった体制が取れていないということ。ぜひ、風通しが良く、若い人が育っていける活力のある組織としていていただきたい。

<政策推進課>

計画書の中でも庁舎内の横断的なプロジェクトチームについては記載されており、「小中学校」「道の駅」など大きな事業を実施する際はプロジェクトチームを発足しているところ。

また、若い人がテーマを見つけて、それに対して自主研修を行うという事業もあるので、そういった部分を広げていくということは計画に書かせていただいているところ。

#### 4 その他

- ◇中期基本計画（案）については、本日で審議が終了。
- ◇未来創生委員会の会議は、今年度残り1回程度。
- ◇状況に応じて会議案内をさせていただく。

#### 5 閉会

以上、終了。（16：00）